昭和十七年
六月

大東亞戰爭必勝完遂

健康第一

子どものためには、何んといつても、健康第一です。心身一體の健康が眞の教育の本旨ですが、先づ基礎となるものは、身體の健康でせう。殊に幼兒期に於て、身體の健康を第一として、工夫もし、努力もしてゆかなければなりません。

教育となると、なんだかこゝろのことで、智慧とか技能とかゞ、偏り重んぜられる風があるのですが、少くも幼兒期の教育では、そういふことは第二としていゝことでせう。況して、そういふ方面を主にするために、假りにもからだの健康を害ふやうのことがあつたら許されないことです。誰れだつて、そんなことをすることはない筈ですが、識らず〳〵そんな結果が少しでも伴ふやうのことは、細心に注意しなければなりません。

幼稚園で、なるべく多くの時間、幼兒を室外に出して遊ばせるのも、日光と空氣と殊に運動とによる健康を增してゆきたい爲です。そのために多少腕白になつても、いたづらしても、日にやけても、そんなことは大目に見ませう。着物がよごれたり、やぶれたりする位、氣にしてゐられません。

家庭、幼稚園協力で、日本の子どもを、强くしませう。

幼稚園から

○なんといふいゝ季節でせう。子どもの着物も輕くなりました。むき出しの皮膚に、直射の日光を與へることも容易になりました。といつて、まだ眞夏の炎熱でもなし、ほんとうに、子どもの外遊びの最好時ですね。

○お子さんの服裝を出來るだけ簡單にして下さい。幼兒の國民服をつくるとしたら、どんなのがいゝでせうか。運動第一と、洗濯に便利なことでせう。うんと運動して、うんと汗をかいて、うんとどろんこになつて、それでゐて、始終清潔にしてゐられることです。餘計の飾りひだや派手ではげ易い色模樣や、洗ふとすぐ型の崩れるしやれ仕立なんか禁物です。

○心を用ゐられてゐると思ふと、こつてりとおとな好み。かまわないと思ふと、不潔なむし好み。子ども好みではない。